



与野本町小だより

～かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子 助け合う子～
ニコニコ・しっかり・美しく（本町の心）

12月号

令和7年11月27日

さいたま市立与野本町小学校

助け合う子

～「小さな親切」のすすめ～

校長 小野圭司

11月13日（木）の朝、地域の方から次のような嬉しいお話を伺いました。数日前の風の強い日に、玄関先に干していた傘が風で飛ばされてしまったそうです。その傘を、本校の2・3年生くらいの子どもたちが拾ってくれたとのことでした。その方が玄関先に出たとき、子どもたちは「チャイムを鳴らそうか」「この傘をどうしようか」などと相談していたそうです。その姿に感激されたその方が、この日、私に伝えてくださいました。

また、11月22日（土）の朝には、私は「今日は授業参観があるので、通路の落ち葉を掃いて保護者の皆さんに通りやすいようにしよう」と思い、落ち葉掃きをしていました。すると、10人ほどの6年生が一緒に掃除を手伝ってくれました。おかげで、短時間で通路がきれいになりました。大変助かりました。6年生の行動にも心を打たれました。

さて、先々月の「たくましい子」、先月の「心ゆたかな子」に続き、今月は本校の学校教育目標の一つである「助け合う子」についてです。子どもたちは、友達と仲良く協力する姿が日常的に見られ、先述のような行動も自然にできることに感心させられます。

夏休み中の課題の一つに「小さな親切運動作文コンクール」がありました。本校からは6名が取り組み、その作文を読ませてもらいました。そこには、お父さんやおばあちゃん、友達、近所の方、運転手さん、病気と闘っている人などの出会いを通して、助け合いや温かい関わり、優しい思いが綴られていました。

本校は今年度、「小さな親切」運動与野支部から「実践校」の指定を受けており、2月に取組を発表する予定です。「発表内容がなくて困る」というよりは、子どもたちの多くの「小さな親切」の中から、どれを紹介するか迷うほどです。

12月2日（火）のお話朝会では、これらの事例を子どもたちに伝え、助け合いや「小さな親切」への意識をさらに高めたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、子どもたちの助け合いや「小さな親切」の場面を見られましたら、ぜひその行動をほめていただくとともに、他の方へも伝えていただければと思います。「小さな親切」の輪を広げていきましょう。

11月22日（土）には授業参観を実施し、多くの保護者の皆様に子どもたちの様子をご覧いただきました。そのほか、学校運営協議会やPTAふれあいまつりも開催されました。いずれも「本校の子どもたちのために」という思いにあふれた素晴らしい取組となりました。この場をお借りして関係の皆様に深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。